ひと

3冊目の詩集「月あかり」を出版した
堀口（ほりぐち） すみれ子（こ）さん

月刊「かまくら春秋」に、この20年間に連載した詩から50編を選んで「月あかり」にまとめた。詩集は3冊目。葉山町での父堀口大學との思い出、娘や孫との暮らし、戦争などへの思い、上皇ご夫妻への祝意など、20年間の人生が凝縮された1冊だ。

〈ふりかえれば
いつも 何をしていても
月あかりの中に居た〉

冒頭に掲げた、本と同名の詩は、父の愛情に包まれて育ったことを詠う。「花一輪」はウクライナ戦争への思い。

〈破壊の音が止んで
花一輪
季節の花が咲くといい〉

長女の葉子さんが19年前、まだ6カ月の孫・裕さんを連れて戻ってきて、3人で暮らすことになった。東日本大震災のとき、避難先の九州で見た「こいのぼり」の詩は、孫と同じような幼子がたくさん犠牲になったことに思いをはせる。

〈つえたて川にわたる
何千のこいのぼりが
悲しみをはらんで
空におよぐよ〉

上皇ご夫妻とは20数年来のお付き合いがある。巻末の「祈りの花束」は、もともと金婚式をお祝いするために密かに作った詩だった。結婚60周年を前に、作曲家の故・尾高惇忠東京芸術大学名誉教授に作曲を依頼した。自宅に迎えたご夫妻の前で、尾高氏がピアノを弾き、夫人で声楽家の綾子さんが歌った。

太平洋戦争末期に、疎開先の静岡県興津町（現静岡市清水区）で生まれた。父が53歳の時だ。5歳のころまで新潟県高田市（現上越市）で暮らし、葉山町に転居。葉山小を卒業後、江の島に近い湘南白百合学園中学・高校に通った。そして父と同じ慶応大学へ。

母の体調がよくないこともあって、食事の世話もピアノの発表会の付き添いも父だった。父には「れこ」と呼ばれ、「花瓶の花」のように育てられた。中学校の入学式にも65歳の父が紋付袴で出席した。他の母親と離れ、一人ベンチに座る父を見て同級生に「あの方、おじいさん」と尋ねられたことを覚えている。

1981年に父は89歳で亡くなった。その後、勧められて「かまくら春秋」に父の思い出を連載した。詩を書き始めたのはそんなころ。

「父と同じことをしたい。父とつながっていたいという気持ちでした」

そして師匠を持たず、詩壇にも馴染む書き続けてきた。

「父と暮らした日々が（心に）残っていて、感性や感覚を受け取っているのかもしれない。師匠は父かもしれない」という。

父は80歳を過ぎて初孫の葉子さんを抱き、亡くなる直前まで森戸海岸を散歩するなど、普段通りに暮らしたが、その父の書斎は、いま孫の裕さんの受験勉強の部屋となっている。81歳。

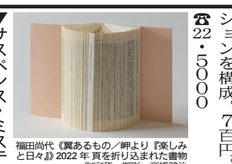
（文・写真　真田正明）

みる

▼雛人形展
2月7日～3月22日鎌倉国宝館。江戸時代の享保雛、古今雛、ミニチュア調度品、御所人形など多様な雛人形を取り揃えその歴史が学べる展示。7百円。☎22・0753

古今雛（同館蔵）

▼福田尚代　あわいのほとり
2月21日～5月17日県立代美術館鎌倉別館。「世界は言葉でできている」という独自の思索を、言葉と美術により探求してきた福田尚代の創作世界を紹介する。回文と作品によるインスタレーションを構成。7百円。☎22・5000


福田尚代《翼あるもの／岬より『楽しみと日々』》2022年 頁を折り込まれた書物 行家蔵　撮影：髙橋健治

▼サスペンス・ミステリー映画の奇しい世界
3月29日まで川喜多映画記念館。スリルを味わうサスペンス映画と謎解きを楽しむミステリー映画の両ジャンルの古典から近作までを取り上げる。5百円、鎌倉市民無料。

【関連上映】「教皇選挙」2月3・4・6・8日／「エドガルド・モルターラある少年の数奇な運命」3・5・7・8日／「ガタカ」17・19・21・22日／「ダーク・ウォーターズ」巨大企業が恐れた男」18・20～22日。千3百円。

【トークイベント】平山夢明とポスターマンのストレンジラブな映画の話。7日14時。千3百円。☎23・2500

▼古河文学館・鎌倉文学館巡回企画展「生誕100年 永井路子展」
2月21日～3月22日鎌倉芸術館。歴史小説家で鎌倉名誉市民の永井路子の生涯をたどり、永井が目指した歴史小説の真髄に迫る。直筆原稿や第52回直木三十五賞目録、時計など。無料。☎鎌倉市芸術文化振興財団☎23・3911

▼金沢文庫文書の歴史
3月15日まで県立金沢文庫。金沢北条氏ら鎌倉の武士や京都の高僧、称名寺の碩学の書状など、鎌倉時代の重要な史料である「金沢文庫文書」の調査、研究、修理、編纂を公開し、将来の「金沢文庫文書」のあり方を展望する。4百円。☎045・701・9069

▼かまくらの すてきなたてものの えほん展
2月7日まで大船ルミネウィング6階サロン。鎌倉市在住の画家 伊東雅江さんの冊子「かまくらのすてきなたてものの えほん」の原画展で、鎌倉の歴史的建造物を紹介。大正末期から昭和初期の大船駅東口付近を舞台に構成された「大船田園都市計画」の資料も展示。

▼月猫展～猫とバレンタイン
2月6～23日北鎌倉ギャラリー月。【同時開催】絵付けワークショップ。限定チョコレート企画。☎22・2913

▼62回 新春書道展
2月24日～3月1日鎌倉生涯学習センター。日本絵合書芸院会員一般作品約160点と、幼年から中学生の新春書初め約60点。同書芸院☎23・2100

▼Artists in FAS 2025
3月15日まで藤沢市アートスペース。制作・展示支援プログラムで選出されたインスタレーション、パフォーマンス、作品展。無料。☎0466・30・1816

海城サミット 講演会&パネルディスカッション
小田原北条氏 vs 里見氏
江戸湾をめぐる歴史・水軍・城郭を語る

2月7日13時20分、鎌倉商工会議所。
13時25分、主催の千葉城郭保存活用会代表 小室裕一さんの講演「戦国江戸湾の歴史と水軍 海城郭との関係を探る」。
14時25分、小室さん司会で同会副代表・三浦一族研究会副会長 山城ガールむつみさん、玉縄城址まちづくり会議 副理事長 大竹正芳さん、千葉・神奈川の自治体の文化財担当者を交え、「江戸湾沖・江戸湾、そして内陸を通る中世戦国のシーレーンについて」をテーマにパネルディスカッション。千5百円。
申込は玉縄城址まちづくり会議のHPから。

きく

▼第7回 定期演奏会 鎌倉男声合唱団 牧神
2月21日14時、鎌倉芸術館。組曲「雨」、オペラ・アリア「もう飛ぶまいぞこの蝶々」、「知床旅情」、「真夏の果実」、「海その愛」など。千円。鎌倉芸術館チケットセンター☎0120・1192・40

▼第28回 湘南鎌倉フィル
2月21日10時、村岡市民センター。江の島や藤沢宿を描いた浮世絵の紹介と市内のアート作品に関する取り組みや展覧会などの解説。無料。要申込。藤澤浮世絵館☎0466・33・0111

▼葉山の山を考える
2月22日13時半、葉山町福祉文化会館。神奈川県森林組合連合会 石鍋聡さんの講演、自然保護団体 小菅純さん4人の事例紹介、グループディスカッションなど。無料。要申込～19日。葉山まちづくり協会☎046・876・0421

▼困難を抱える女性への支援を考える
2月26日10時、葉山町教育委員会研修室。困っている人がいることや支援の相談窓口を知り、何ができるかを考える。講師はアマヤドリ代表 菊池優さん。無料。申込～20日。葉山町健康課☎0466・27・1111

▼鎌倉権五郎景政の一族から見た大船
3月15日14時、大船学習センター。鎌倉権五郎景政一族から見た「古代から中世にかけての大船」を鎌倉郷土史研究家の鎌倉智士さんが語る。無料。往復ハガキかネットで申込～3月3日。☎25・2030

まなぶ

▼考古学研究所 第9回シンポジウム「北条重時家訓から考える鎌倉」
2月21日9時45分、鎌倉生涯学習センター。講演 國學院大學 森幸夫さん「北条重時とその家訓」。発表 久保田和彦さん「鎌倉幕府における北条重時の位置―『連署』とは何か」など4件と討論。千円。申込不要。主催は同研究所。鎌倉市教育委員会 文化財課☎61・3302

▼アートスペース・藤澤浮世絵館連携企画講座「藤沢新旧アート事情」
2月21日10時、村岡市民センター。江の島や藤沢宿を描いた浮世絵の紹介と市内のアート作品に関する取り組みや展覧会などの解説。無料。要申込。藤澤浮世絵館☎0466・33・0111

▼葉山の山を考える
2月22日13時半、葉山町福祉文化会館。神奈川県森林組合連合会 石鍋聡さんの講演、自然保護団体 小菅純さん4人の事例紹介、グループディスカッションなど。無料。要申込～19日。葉山まちづくり協会☎046・876・0421

▼困難を抱える女性への支援を考える
2月26日10時、葉山町教育委員会研修室。困っている人がいることや支援の相談窓口を知り、何ができるかを考える。講師はアマヤドリ代表 菊池優さん。無料。申込～20日。葉山町健康課☎0466・27・1111

▼鎌倉権五郎景政の一族から見た大船
3月15日14時、大船学習センター。鎌倉権五郎景政一族から見た「古代から中世にかけての大船」を鎌倉郷土史研究家の鎌倉智士さんが語る。無料。往復ハガキかネットで申込～3月3日。☎25・2030

さんか

▼ふらっと カフェ鎌倉
誰でも参加できる地域食堂。▽おとら食堂（安国論寺）2月1日12時半。▽二階堂デイサービスセンター20日17時半。▽ソンベカフェ25日16時半。各大人5百円、中学生以下無料。要予約。渡邊方☎090・5199・1654

5百円、2千円。申込～5日、2千円。HPから申込16日～。

▼第10回 逗子 復幸男女決定戦
2月11日10時、法性寺。今年の逗子一番の福男女を決める競争。山門から本堂正門までの坂を上るコース。復幸男女、児童決定戦は要申込。復幸ランは速さ関係なく頂上まで登る。無料。逗子災害ボラバスターズ☎090・3917・8432

▼逗子の市（雨天中止）
亀岡八幡宮境内。▽フリーマーケット2月27日8時～14時半。雑貨・衣類・手造り品など約20店。▽骨董市28日7時半～14時半。※フリマ・骨董市出店者募集中。片岡方☎090・5442・3778

▼第19回鎌倉市テニス協会親子テニス教室
3月21日9時・1時15分・13時45分、笛田公園テニスコート。鎌倉在住・在勤・在学対象。2千円、ファミリー初めてテニス（大人2人・子ども2人以内）大人千円、子ども2千円。HPから申込16日～。

第20回未来・連福チャリティーコンサートin建長寺
「白木蓮からの伝言」

東日本大震災で被災した東北支援の一環で、市民グループ「未来・連福プロジェクト」が毎年夏に行っている「東北の子供達を鎌倉に」招待・建長寺で会いましょう！」の貸倉並奏のコンサート。3月8日13時、建長寺式でも演奏している。

式町水晶さん

伊藤誠さん

龍王殿。

脳性まひと闘う式町水晶さんのポップバイオリンと、シンガーソングライター伊藤誠さんの歌。

式町さんは全国で演奏・講演活動を行い、東京パラリンピック閉会式でも演奏している。

伊藤さんは長年銀行勤務の傍らコンサート活動を行っていたが、臨死克服を転機に独立。楽曲創作に専念し活動を展開している。

前売券3千円、高校生千5百円、中学生以下無料（要予約）、当日券3千5百円（別途拝観料5百円）。

申込は斎藤さん☎090・3689・8011 gmail.com

▼新春 盆踊り 鎌倉音頭を踊ろう！
2月11日13～15時、御成小学校。鎌倉音頭「炭坑節」「東京音頭」「ドラえもん音頭」など。無料。申込不要。御成小地区スポーツ振興会。

▼鎌倉風致保存会
▽みどりのボランティア2月7日建長寺回春院、14日御谷山林、21日十二所果樹園。各9時20分現地集合。☎23・6621

▼大船フラワーセンター
▽プレゼント企画 2月8日9時～バレンタインチョコ。▽夜桜ライトアップ21～23日・28日・3月1日～19時半。▽ミニランタン作り21～23日15～18時。ちょうちん作り28日・3月1日15時～18時。5百円。▽フラワーコンサート1・15日11・14時。無料。▽園長さんぽ8・15日10時頃。

【休日散歩】十二所果樹園28日9時半、鎌倉駅西口時計台広場集合。約3・5㎞。8百円。保護者同伴小中学生無料。☎24・6548

▼北鎌倉台峯の緑をともに
▽山の手入れ2月14日10時、山ノ内配水池脇。▽山歩き15日9時、山ノ内公会堂。北鎌倉台峯緑の会。☎090・6502・2470

▼第9回 平和の輪をひろげるつどい
2月6日18時、藤沢市民会館。神奈川県原爆被災者の会副会長 福島富子さんの講演とトークセッション。映画「感星ラブソング」上映。無料。藤沢市の HPで申込～5日。藤沢市人権男女共同平和国際課☎0466・25・1111

▼ハーモニック管弦楽団定期演奏会～身体にいい音楽会
3月8日14時、鎌倉芸術館。癒しの医療を考える会に賛同し参集するオーケストラの演奏会。指揮徳永二男さん、ルート高木綾子さん、フ教育委員会研修室。困っている人がいることや支援の相談窓口を知り、何ができるかを考える。講師は宝塚歌劇団 小林修三院長の「作曲家の病と音楽～いのちの話」も。4千円、学生2千円。同会☎090・6883・9986

※5組10人に招待 ハガキに住所、電話番号、氏名、年齢を記入、10日（消印有効）までに1面題子下住所の鎌倉朝日へ。多数抽選。

▼鎌倉ベーカリー伝授～春の手作りパン教室（1000円）
鎌倉ベーカリー。☎45・4611

▼玉縄城址まちづくり会議
2月19日13時半、玉縄城址まちづくり会議。玉縄城址の保存・活用・まちづくりの取り組みを考える。無料。申込～17日。玉縄城址まちづくり会議☎090・3917・8432

▼玉縄中学校箏曲部 箏曲演奏会
2月21日9時半～11時半。玉縄中学校。箏曲の演奏。無料。申込～20日。玉縄中学校箏曲部☎47・1338

心のふる里を行く ㊻
「ばけばけ」の時代を共に生きる
池田雅之

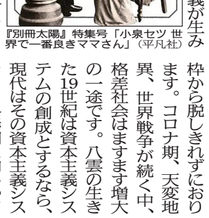
小泉八雲が1890（明治23）年4月4日、なぜ日本へやってきたのか理由は、通説では2つあげられています。

一つは、チェンバレンの「古事記」の英訳（1880年）を読んだこと。もう一つは、ニューオーリンズの世界万博（1885年）の日本館展示に魅せられたことです。

確かにこの二つは、八雲にとって、日本行きの動機になったでしょう。そしてこれは、八雲がなぜ日本にやってきたかの通説といってよいでしょう。

しかし、私にとって、八雲が日本にやってきた本当の理由は、彼が18、19歳のロンドン体験と、19歳以降のアメリカ体験に求めるべきだと思っています。

ハーン家から追い出された八雲は、浮浪者同様、ロンドンをうろつき回っています。ここで、この頃の産業革命絶頂期の庶民の悲惨な生活ぶりを知るのです。八雲の苦難に満ちた「ばけばけ」人生の始まりです。


「別冊太陽」特集号「小泉セツ 世界で一番良きママさん」（平凡社）

19歳の時、アメリカのシンシナティーに行きます。ここで目にしたものも、産業資本主義を作り出す富める者と貧しい者の格差社会の現状でした。24歳ころ新聞記者として働き始めますが、産業革命や資本主義が生み出す非人間性に対して批判的な立場をとるようになっていきます。

八雲はロンドンとアメリカで産業資本主義社会の勃興とその悲惨を彼自身体験し、こうした体験が、彼が日本というユートピアに向かう原因になってくることになります。この時代が、近代の始まり、資本主義の誕生期といってよいでしょう。

今日はポスト資本主義の時代といわれていますが、いまだに社会はその枠から脱しきれずにおります。コロナ期、天変地異、世界戦争が続く中、格差社会はますます増大の一途です。八雲の生きた19世紀は資本主義システムの創成とするなら、現代はその資本主義システムの終焉期に向かっています。

フランス哲学者エマニュエル・トッドは「西洋は失敗した」と言っています。そんな時代に、私たちはどう生きていけばよいのでしょうか。

NHK朝ドラ「ばけばけ」の脚作家・ふじきみつ彦さんは、明治時代の日本と現代の日本を重ねあわせて、八雲と共振しているように思われます。

今、なぜ八雲と妻セツの共作である「怪談」と「ばけばけ」を問うのかというと、二人が大事にした日本人の悲喜こもごもの中の平安と幸せを描いているからでしょう。

「怪談」と「ばけばけ」は私たちを盛並的なものの世界やアニミズムの世界につれ戻そうとしているのです。

ふじきみつ彦さんは八雲とセツを重ね合わせながら、「なにもない二つの時代」の悲喜劇を語っていると思われます。

（早稲田大学名誉教授・鎌倉てらこや顧問）

購入新図書のリスト抄
鎌倉市中央図書館（12月分）

鎌倉市中央図書館（☎25・2611）は12月に一般114冊、児童書62冊を収蔵した。一般的なものは下記の通り。

▼「AIバブルの不都合な真実」クロサカタツヤ著 日経BP ▼「明治維新10講」岩波新書 新赤版 三谷博著 岩波書店▼「中近世鎌倉の都市史」山川歴史モノグラフ 岩田会津著 山川出版社▼「鎌倉人を訪ねて」松本彰著 幻冬舎メディアコンサルティング ▼「検事の心得」伊藤鉄男著 中央公論新社▼「中高年シングル女性」岩波新書 新赤版 和田静香著 岩波書店▼「『人体』の中では何が起こっているのか」廣田昌彦著 ベレ出版▼「大水害時代の防災 岩波ブックレット」梶原健嗣著 岩波書店▼「献立みたいなオールインワンごはん」にこまお著 光文社

▼「薬膳せいろ」山田奈美著 朝日新聞出版▼「日本人の9割は知らない世界の富裕層は日本で何を食べているのか？」柏原光太郎著 ダイヤモンド社▼「山田洋次と倍賞千恵子『TOKYOタクシー』」キネマ旬報 2025年11月号増刊 キネマ旬報社▼「三島由紀夫との六十年」平凡社ライブラリー 高橋睦郎著 平凡社▼「妻が余分」徳間文庫 新津きよみ著 徳間書店

▼「母の味、だいたい伝授」新潮文庫阿川佐和子著 新潮社▼「双葉社特性のない男」ローベルト・ムージル著 松籟社▼「おやつにキャベツ」シリーズ再生の文学セルジョ・トーファノ著 英明企画編集

鎌倉朝日俳壇
星野 高士 選

〈天〉金石晴れて潮音のひかる羽子田和 横浜市 矢沢 寿美
何といっても大らかに試んでいるところが妙。また、季題も面白いところ。上五中七に景色が見えた。
〈地〉年惜しむときに水平線を見て 台 黒岩 伸幸
本当に年を惜しむ時の水平線は平らなもの。大きな季題。
〈人〉岬より尾根初富士まっしぐら 藤沢市 山田 節子
勢いのある作品は余韻も楽しい。無駄のない言葉だからこその一句。
梅咲く桃源めきし谷戸の奥 山ノ内 高橋 仁
探梅のときめき感じて伝わってきた。特に中七は豪華。
谷戸ゆけば光の中に冬紅葉 腰越 松原 薫
最近は冬紅葉が難しく、秋よりも冬である。谷戸の広さが出ていた。
珈琲香のひとときを年詰まる 城廻 増田 陽子
こんな年の暮れも貴重な時間。お茶ではなく、珈琲が利いている。
列をなすおみくじ場冬日濃し 藤沢市 森田 順子
一筋の光碎けて初日降る 横浜市 矢沢 寿美
冬麗の富士ここにあるかこの葉山 藤沢市 森田 順子
香立つ国の賀状欠かさずに挨拶 寺分 台 柴田 慶子
年あたらしくまったくの鍋囲み 藤沢市 山田 節子
年あたらしくまったくの鍋囲み 手広 高田 道宏
鈍色を越えて華やぐ春あけり 小袋谷 真壁 芳子
凍てつきて美男大仏背を丸め 材木座 羽賀 潔子
富士なりも高く我が凧点となり 材木座 羽賀 一男
年新家族集いて平安を 腰越 吉田 昭子
湯たぽに足をかさまず夢路ゆく 城廻 塩田 文子
弾初ピアノの音色ノルウかな 藤沢市 横山 初恵
中天に流星群待つゆゆる夜 藤沢市 三浦 利子

鎌倉朝日歌壇
木村 雅子 選

新しい年の清々しい情景。広々とした動きがある。
アンカーは風邪声ラジオ深夜夜寝床でそっとマスクをつける 片瀬 中村 喬
自分も気をつけようと、「そっと」に心情がこもる。
木枯らしに舞い散る落葉に背を押され一葉となり空に舞いたり 藤沢市 三浦 和子
自分も落葉になったような感慨が、擬人化で効いた。
一輪でなければならぬ冬薔薇の一人の部屋にもゆる赤なり 藤沢市 青木寿美子
タなぎの相模の海は寝入りたる赤児のごとき日輪を抱く 津 石川 詔子
ペンタッチの疎林に美しき鳥の声喜び歌ひ光をこぼす 玉縄 杉山ますゑ
生まれ来てこの腕に重み預けたる君は十七歳 まはゆき光 葉山町 近藤美知子
一つずつ命の重さ同じなり地球に生きる人、馬、目高 逗子市 湊 美根子
陽を浴びて波なめらかに打ち寄せる砂浜歩き年は暮れゆく 由比ガ浜 佐武 亜喜
解体の更地一帯芒洋とそこはかとなく風が過ぎゆく 岡本 鳴海 紀政
三人のとし合わせ二百五十五歳朝比奈切通しを越えたり 常盤 石丸 迪子

≪投稿募集≫
●ペット紹介　写真・紹介文と住所、氏名、☎明記。掲載後写真をカレンダーにして贈呈。info@kamakura-asahi.com
●歌壇・俳壇
ハガキ1枚に3首（句）まで。同じ面に住所、氏名、☎を明記。1面題字下住所の鎌倉朝日へ。

朝日新聞の購読料は口座振替で
・手数料は一切不要
・手続き簡単
ASA

従業員募集
詳しくは最寄りのASAへお問合せ
・専業従業員
・婦人パート
・学生アルバイ

明治37年創立
学校法人 鎌倉女学院
中学校・高等学校
〒248-0014 鎌倉市由比ガ浜2丁目10番4号
電話(0467)25-2100(代表)

鎌倉朝日 発刊協力グループ 朝日新聞サービスアンカー
ASA鎌倉小町 長谷二―一九 ☎22・3236
ASA鎌倉中央 浄土寺浄土木二―一一 ☎0467・27・8711・2368
ASA鎌倉笛吹 常盤二四七―二 ☎31・1444
ASA大船西部 玉縄一―一四一 ☎46・6088
ASA大船・北鎌倉 大船四―二一一〇 アーバンハイツ1F ☎38・7332
ASA腰越 藤沢市鵠沼海岸六―一一―三 ☎0466・27・8716
ASA藤沢南部 藤沢市鵠沼海岸六―一一―三 ☎0466・27・8716
ASA藤沢中央 藤沢市弥勒寺二―二一一 ☎0466・26・3431
ASA湘南鵠沼 藤沢市鵠沼海岸二―一一―一 ☎0466・34・6924
ASA藤沢 藤沢市大鋸四―一〇八 ☎0466・27・0515
ASA葉山 三浦郡葉山町堀内一―一〇八 ☎046・875・0515
ASA金沢八景 横浜市金沢区六浦二―一一〇 ☎045・701・8616
ASA逗子 逗子市久木一―一一一 ☎046・871・2368
ASA東逗子・追浜 横須賀市浦郷町一―一六八 ☎046・884・4006
ASA大船北部 横浜市栄区笠間四―一一九 ☎045・891・0986

鎌倉といえば・・・
鳩サブレー
豊島屋
http://www.hato.co.jp

多世代交流～子どもから大人までだれでも参加・楽しく交流～
鎌倉市在住の小学生以上対象　2月2日9時から各センターへ申込（先着順）

催し名	施設名	日時	
誰でも楽しめるニュースポーツ～モルック体験教室	名越やすらぎセンター	2月	21日14時
	腰越なごやかセンター		15日13時半
	教養センター		14日10時
	今泉さわやかセンター		21日10時
	玉縄すこやかセンター		14日13時半

施設名	催し名	日時	
名越やすらぎセンター ☎25・1188	ALSOK　ほっとライフ教室～防犯クイズ／救急救命体験	3月	14日14時
腰越なごやかセンター ☎31・0800	鎌倉さんぽ～腰越周辺の寺社巡り（100円）		7日10時
教養センター ☎32・1221	キムチの知られざる世界～キャベツのムルキムチ作り（800円）		14日10時
今泉さわやかセンター ☎45・4611	鎌倉ベーカリー伝授～春の手作りパン教室（1000円）		21日10時
玉縄すこやかセンター ☎47・1338	玉縄中学校箏曲部　箏曲演奏会		14日10時